

南半球便り（その 37）：クアッド

9 月 27 日

先週、クアッド、すなわち日米豪印 4 カ国の首脳会合が対面で初めて開催されました（米国ワシントン）。駐豪州大使の立場から、お伝えしておきたいことをまとめてみました。

1. AUKUS を歓迎

4 ヶ国による首脳会合に先だって、24 日朝、菅総理大臣とモリソン首相との間で日豪首脳会談が行われました。その際、菅首相からモリソン首相に対して、16 日に発表された豪英米安全保障パートナーシップ (AUKUS) の創設を歓迎する旨、明確に発言しました。

AUKUS については、既に茂木外務大臣からペイン外務大臣に対して、「歓迎」の旨を伝えていた経緯はありますが、首脳レベルで明確に歓迎し、それが対外発表されたことに大きな意義があります。



日豪首脳会談（出典：首相官邸）

2. 経済的威圧、現状変更の試みへの強い反対

また、両首脳は、豪州が現在直面している貿易上の困難や、南シナ海や東シナ海で横行している新興国による試みを念頭において、経済的威圧や力による一方的な現状変更の試みへの強い反対の意を改めて共有しました。

インド太平洋地域における「法の支配」を維持すべく、日豪両国が強い決意を確認したことに意義があります。

3. 大きな一里塚

今回のクアッドは、数十年後に振り返ってみたときに大きな分水嶺になる会議であったことは間違いありません。インド太平洋地域のメジャー・プレーヤーたる4カ国の間で初めての対面による首脳会合が実現したという意義だけではなく、今後毎年会合を重ねていくという将来の道筋が合意されたからです。そこに歴史的意義があるのです。

クアッドについては、ワクチン供与、重要・新興技術の開発・保護、気候変動問題への取り組みなどに当たって、具体的なイニシアティブが示されたことは報じられているところです。今後も、多方面、多分野にわたって、クアッドの協力が推し進められ、自由で開かれたインド太平洋の実現に大きく資することが期待されます。



初の対面による日米豪印（クアッド）首脳会合（出典：首相官邸）

4. クアッドと AUKUS

最近、AUKUSが発足したため、「クアッドとの関係がどうなるのか？」と聞かれることが時々あります。

私の理解は、クアッドとAUKUSは排除し合うような関係にはなく、補完的な関係にあると受け止めています。そもそも、AUKUSは防衛・安全保障に焦点があり、具体的イニシアティブとして、まずは豪州の原子力推進型潜水艦導入に向けて、豪州、英国、米国の3カ国で協力を進めることとしたものです。

これに対してクアッドは、「自由で開かれたインド太平洋」を実現するための手段（vehicle）であり、対象とする分野は防衛・安全保障に絞られるわけではなく、インフラ開発、テロ対策、サイバー・セキュリティ、貿易・投資、人道支援・災害救援等、実に多岐にわたります。であるからこそ、現在、新型コロナウイルス感染症対策、重要・新興技術、気候変動に関する作業部会が設けられ、着実に成果が積み上げられているわけです。



日米豪印4か国の首脳（出典：首相官邸）

5. 重層的な枠組みによる推進

また、「自由で開かれたインド太平洋」の実現は、クアッドの4カ国やAUKUSの3カ国だけで完結するものではありません。だからこそ、日豪米印の共同声明でも、ASEANによる「インド太平洋に関するASEANアウトルック」や、EUによる「インド太平洋における協力のための戦略」の重要性が特記されたわけです。

「自由で開かれたインド太平洋」の下で実現が目指されている航行の自由・上空飛行の自由の確保、質の高いインフラの実現、そうしたインフラ同士の連結（コネクティビティー）、テロやサイバーの脅威に強い環境、貿易・投資の自由化、人道支援・災害救援の拡充といったものは、域内のすべての国が裨益する公共財でもあります。

であるからこそ、ASEANやEUといった志を同じくする国々の協力を得つつ、強力に推進していくことが重要になるのです。

6. TPP の拡大

この関連で言及すべきは、環太平洋パートナーシップ（TPP）拡大の重要性です。既に日、豪を初めとする8カ国が締結し、マレーシア、ブルネイ、チリの3カ国が国内手続中。英国が加入交渉中です。

先週、中国と台湾が加入申請を行いました。タイを含むアジア諸国も関心を示しています。「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け、多くの国が貿易分野でも舵を切ろうとしている現在、改めて米国の動きが注目されます。

個人的には、インド太平洋の戦略環境の変化を受けて、豪州による原子力推進潜水艦の導入が米国による画期的な支援（関連技術の供与）を得て実現するのであれば、国内的困難はあるにせよ、かつてはTPPを主導した米国がその重要性に目を向けるのは時間の問題であると期待しています。日豪両国の働きかけが重要な所以です。



ペルーの CPTPP 発効を歓迎した。（出典：内閣官房）

山上信吾